



かわもと よしこ  
**川元佳子**さん

加古川市立陵北小学校主幹教諭

明石市出身。昭和55(1980)年に加古川市立小学校の教諭となり、平成16(2004)年に大学院修士課程学校心理コース(夜間クラス)に入学。19(2007)年に修了し、翌年から学校心理学コースの研究生として2年間研究に取り組んだ。



たき ゆか  
**瀧由佳**さん

大阪市立日吉幼稚園教諭

大阪府出身。平成21(2009)年に学校教育学部幼年教育系コースを卒業し、大阪市立日吉幼稚園に着任。今年度は年中児を担当。春に新入園児を迎え、多忙な毎日過ごしている。

→道徳の時間にはソーシャルスキルトレーニングの考えを取り入れた実践をしています



## 学級担任として日々の実践で 研究の成果を実感しています

**教**員になって20年が過ぎ、いろいろな面で考えることが多くなってきました。そんな折、臨床心理士の資格を持つ校長先生から大学院を勧められました。夜間クラスに通うことになり、仕事と両立できるかどうか心配でしたが、周りの方々の理解もあつて3年間で修了。翌年からは研究生となり、やり残した研究にも取り組めました。大学院では「児童・生徒に対する教師の視点に着目した学級経営支援プログラム」を研究し、現在、学級経営で

その効果を実感しています。また、兵教大主催の研修講座や兵庫県教職員研究チームなどで、多くの先生方にプログラムを体験していただく機会も与えてもらっています。これまで兵教大の「大学院同窓会会員と大学教員との共同研究」の研究費、文科省の科学研究費などの補助が受けられ、研究を続けるうえで大きな助けとなりました。今後現場で実践を続けながら、自分自身の研修のために勉強を続けていきたいと思っています。

→いつも笑顔を決めると、砂場で子どもたちとまで遊べます



## 私が笑顔でいれば 子どもは伸び伸びできます

**幼**稚園教諭になって3年目を迎えました。忙しい毎日ですが、子どもたちと一緒に過ごす時間はとても充実しています。1年目は年少児を担当し、今年度は昨年度に引き続き年中児を受け持っています。担任として常に心掛けているのは、笑顔で一人一人と向き合うことです。子どもたちは私の表情や言葉遣いをしっかりと見て聞いています。子どもたちにとって幼稚園は初めての集団生活の場であり、不安を感じることも多いです。

私が笑顔でいることで安心を与えられたらと思います。子どもたちの一年に「もう一度」はありません。保護者の方は幼稚園でわが子が成長するのを期待しています。そう思うと、責任を感じ悩むこともしばしばですが、やりがいのある職業だと実感する瞬間がたくさんあります。これからも初心を忘れずに、子ども一人一人と向き合い、走って、笑って、泣いて、喜んで…。子どもたちとのかけがえない日々を過ごしていきたいです。

▶同窓会・都道府県連携推進本部からのお知らせ

### 第31回大学院同窓会総会岐阜大会の開催

大学院同窓会総会は毎年、各都道府県支部の持ち回りとしており、今年は岐阜県で開催します。詳細については「Hyokyo-net」をご覧ください。

◎開催日 8月20日④・21日⑤

◎会場 鶴匠の家すぎ山(岐阜市)

◎内容 修了生の教育実践研究活動等に係る表彰、教育実践発表、講演「岐阜の伝統文化」／杉山雅彦さん(宮内庁式部職鶴匠)、鶴飼観覧、織田信長公居館跡・岐阜城の見学